

豆知識 雑学コラム

理科 星「特別編-2」

では次に太陽の話をしてはいかがでしょうか。昼に観測できる星は二つしかなくて一つは太陽。もう一つは月です。ちなみに夜に観測できる星たちは、ほとんどが太陽と同じつくりの星で恒星と呼ばれます。

夜空の星たちには色があって、赤、オレンジ色、黄、白、青白色などあるよね。太陽は生まれてから何年がたったのかというと約50億年です。寿命の約半分を生きました。ではこれから太陽は残りの人生を生きるのだけれど、やがて寿命が尽きるよね。どうなるかということだんだん大きくなっていきます。ものすごく大きくなり、実は地球は太陽に食べられちゃうんだ。でも心配しないで。ものすごく先の話だし、僕たちの子孫はきっとそのころには地球を動かす!。「どうやって?」。それは、マジックハンドのようなもので押すのさ。うふふ。太陽は大きくなり、やがて大爆発を起こし、いろんな物質を宇宙にまき散らし、やがてそれがまた星になっていくんだ。太陽よりもっと大きな星は大爆発しその後、急激に縮んで恐ろしいブラックホールになる。ブラックホールは何でも圧倒的な重力で引き付けてしまい、なんと光も引き付けてしまうんだ。



次に月の話をしようか。月は満ち欠けをしてとても神秘的な星だよね。地球の唯一の衛星で太陽の光を反射して輝いているんだ。月は、実はいつも同じ面を地球に向けているんだけど、なぜそんなことになるかということ、自転速度と公転速度が同じなので、うーん、言葉で分かりにくいかな。では実際にやってみるか。

授業では君が太陽で先生が地球ならこうね。と、くるくる回転しながら実践し、君が地球で先生が月ならこうね。と、じいっと見つめながら回転して見せます。これは文章では非常に伝わりにくいですね。授業はまだまだ続くのですが、この辺にしますね。



このようにたっぷり夢のある話をして、授業の後半では「よし、兄貴（私のこと）に何でも聞いてみよう」コーナーに突入します。すると、普段は大変おとなしく控えめな生徒でも挙手がたくさん出ます。そのときの目の輝きはとっても素敵です。たくさんの質問に答えてさあ終わろうかというときに、かつてある女の子が最後にこんな質問をしました。「先生、宇宙ってどこにあるんですか?」です。素敵な質問ですね。私は即答しました。身振りを加え「宇宙は君の心の中にある!!!」。

星の内容がこれからスタートします。お楽しみに!